

令和6年度「人権教育研究指定校事業」指定校事業報告書

委託先（ 愛媛県 ）

1. 調査研究のテーマ、概要

調査研究のテーマ	「人権問題を正しく理解し、 主体的に解決に努める行動力のある生徒の育成」
----------	---

○調査研究のテーマを設定した目的

生徒は学習活動や部活動、校外活動に一生懸命取り組み、生き生きと学校生活を送っている。目の前の課題の解決に向けて進んで取り組もうとする生徒は少ないが、互いの良さを認め合い、仲の良い集団でありたいという気持ちはよくうかがえる。

そこで、生徒一人一人の良さを大切にしながら、体験型の学習活動や教科等横断的な学習を通して、同和問題をはじめとする様々な人権問題に関心を持たせ、人権問題を正しく理解していこうとする意欲を引き出していきたい。そして、人権問題を自分事として捉え、問題解決に向けて他者と学び合い、主体的に解決しようとする意識や行動力を高めていきたいと考え、本テーマを設定した。

○調査研究の概要

同和問題をはじめとする様々な人権問題に関する教職員研修を充実させることによって、差別の現実から学び、指導者自身の科学的認識や人権感覚を磨く。また、指導計画の見直しや実際の授業の充実・改善を図ったり、人権劇や福祉体験活動などの体験的活動を重視したりすることで、生徒の人権意識を高める。授業や生徒会活動、学校行事を通して生徒の自己肯定感・自己有用感の向上を図ることによって、自他の生命を尊重し、差別解消に主体的に取り組む生徒を育む。

2. 基本情報

研究指定校の概要

○学校名

宇和島市立津島中学校

○これまでの研究指定等の状況

なし

○学級数

7学級（うち特別支援学級：1学級）

○児童生徒数

全校生徒：174人（令和6年12月20日現在）

○URL

<https://tsushima-tsushima-j.esnet.ed.jp>

○指定理由

本校では、「力強く未来に羽ばたく力を育成する」の学校教育目標の下、自尊感情を持ち他者に思いやりを持って接する生徒、きまりを守り何事にも誠実に取り組む生徒、夢や目標に向かって努力する生徒を育成する学校づくりを目指している。学校運営協議会を生かした学校運営により、学校、家庭、地域が一体となって、ふるさと「津島」を愛し、ふるさと「津島」に貢献する体験活動に力を入れている。

また、同和問題をはじめとする様々な人権問題の理解と認識を深めることにより、人間の尊厳についての自覚を高め、差別解消に努めようとする生徒を育てることを重点目標の一つとして掲げ、体験型の学習活動や教科等横断的な学習を推進している。その一環として、ハンセン病患者等の人権課題について深く学ぶために長島愛生園を訪れたり、国立ハンセン病資料館の方を招いて講演会を開催したりしている。その他にも、いじめ撲滅を目的とした人権ソングを生徒会が中心となって作成し、様々な行事等で長年にわたって歌い継ぐなど、人権を大切にしようとする気持ちを継承する取組を続けている。

11月には、研究発表会の開催を予定しており、県内外から多くの参加者と学校の成果を共有し、広く啓発することも期待できることから、研究指定校にふさわしいと考える。

3. 取り組んだ人権課題について

取り組んだ人権課題（該当するものに○印。複数選択可。うち、最も主要な人権課題1つに◎をつけること。）※人権教育研究推進事業公募要領（別紙）「2. 事業の内容」を必ず確認すること。

① 子供	○
② 女性	
③ 高齢者	○
④ 障害者	○
⑤ <u>同和問題</u>	○
⑥ <u>アイヌの人々</u>	
⑦ <u>外国人</u>	
⑧-1 HIV感染者等	
⑧-2 <u>ハンセン病患者等</u>	◎
⑨ 刑を終えて出所した人	
⑩ 犯罪被害者等	
⑪ インターネットによる人権侵害	
⑫ 北朝鮮当局による拉致問題等	
⑬ 性的指向、性自認	
⑭ その他（ ）	

4. 調査研究の内容等

○調査研究の内容

- ア 人権・同和教育の年間指導計画を見直し、本校のこれまで行ってきた活動に自己有用感に関する視点を加え、全教育活動を通して人権を意識した指導を行うことにより、人権問題への関心を高めることができるであろう。
- イ 生徒の実態に即し、教材開発や教科等横断的な指導方法の研究、参加的・体験的な活動の積極的な設定などの授業改善に取り組むことで、人権問題を正しく理解し、主体的に課題を解決しようとする行動力を身に付けさせることができるであろう。
- ウ 生徒の学びを学校だよりやホームページで発信したり、学校運営協議会やPTAの諸会議、人権参観日などで家庭や地域と共に学び合う機会をつくったりすることで、人権尊重の環境づくりを一体的に進めることができるであろう。

○実施方法

- ア 人権問題への関心を高める手立ての工夫
- ・年間指導計画の見直し（6月、12月に全校生徒へのアンケートを実施して生徒の変容を把握し、それをもとにカリキュラムの柔軟な修正を行う）
 - ・学校行事やボランティア活動、地域連携行事への参画の在り方の研究（2年生で行う福祉体験学習での高齢者や障害者との交流による自己有用感の醸成、子ども食堂や地域の祭り等でのボランティア活動による生徒の良さの伸長）
 - ・生活人権委員会をはじめとする生徒会活動と人権教育を結び付けた活動の充実（生徒を交えた校則検討委員会など生徒の主体的な活動の推進、達成感・成就感）
 - ・時事問題となった差別事象に関心をを持たせる手立ての工夫（授業の導入等での活用、新聞記事の活用）
 - ・人権問題を自分事として捉え、課題解決に向けて主体的に行動しようとする生徒の育成のために、社会科や道徳科、総合的な学習の時間などを関連付けて、教科等横断的に人権教育を進める、教科等横断的な学習や課題解決学習の推進
 - ・「体験から学ぶ」というアプローチで人権課題を捉え、解決のために今の自分たちにできることを学ばせ、学んだことを全校生徒で共有し、学習する機会の設定（国立療養所長島愛生園訪問）
- イ 授業改善の推進
- ・生徒の実態に即した人権教育を推進するため、生徒の人権意識の変容をアンケートで定期的に検証し、その成果と課題を踏まえて年間指導計画を柔軟に見直し、実施、評価することによる、カリキュラム・マネジメントの充実
 - ・人権教育の視点を明確にした授業研究や模擬授業での研究協議や校内研修での指導案審議による全教職員の指導力の向上【1年生：ハンセン病患者等、3年生：同和問

題】

- ・校内での人権教育に関する推進体制の在り方の研究（研究推進委員会の活性化）
- ・2年生で行う地域の福祉協議会と連携した総合的な学習の時間における福祉学習や、3年生で行う職場体験学習などの体験活動を取り入れた授業の研究【高齢者・障害者】
- ・県外のフィールドワーク（長島愛生園訪問や、市の人権啓発課と連携した人権・同和教育現地研修会）に参加した生徒による報告会の活用や、「えひめいじめ STOP！デイ plus」に参加した生徒の意見交換など、生徒にとって身近に感じられる人権に関する教材の開発【子供、ハンセン病患者等、同和問題】
- ・端末を活用して一人一人の思いや考えを共有し互いに認め合う機会を設けたり、授業の感想や自己評価等の記録を蓄積し、自分自身を振り返ったりすることで、自己の成長を実感させるなど、自己の成長を実感できる1人1台端末の効果的な活用

ウ 地域や家庭との連携

- ・学校だよりやホームページによる人権学習の取組みについての紹介や、生活人権委員会による校内掲示（人権コーナーでの新聞記事等の掲載や、友達への感謝の気持ちを伝える掲示板）等を活用した啓発の在り方の工夫
- ・人権参観日や津島町福祉会館人権ふれあいひろば（2月）などの保護者や地域と連携した取組のさらなる充実
- ・生徒が参加する学校運営協議会による熟議（6月、11月）や、PTAと連携した人権教育の取組みの推進
- ・子ども会や現地研修を行った生徒の活動を文化祭で発表するなど、学んだことを全校生徒で共有する場の工夫

○検証・評価・改善・普及

〔検証・評価・改善〕

ア 人権問題への関心を高める手立ての工夫

生徒の実態に即した研究を推進するため、アンケートを6月と12月に実施し、人権学習の学びがどれほど生徒たちに響いているか把握に努めた。2年次から、年間指導計画を見直し、1学期に人権獲得の歴史などの知識的側面を学ぶことにより、正しい人権感覚を身に付けることにつながった。また、2学期に読み物資料等を使った授業実践を丁寧に行うことによって心情に迫り、価値的・態度的側面と技能的側面を高めることができた。さらに生徒が、地域のボランティア活動に参加したり、学校行事に意欲的に取り組んだりするように促すなど、自己有用感が高まるように工夫した。生徒は、自分の良さに気付き、「周りの人に役立っている」「自分にもできることがある」ことが、自信につながってきているようであった。それとともに、友達や仲間、地域の人々の良さやありがたさにも気付くことができた。周りに感謝することは、自分の人権を守ると同時に、他者の人権を守るにつながっていると考える。また、福祉学習

で障がいのある方と交流したり、同和問題学習やハンセン病問題学習の県外研修に参加したりすることで、体験的な活動や人権課題に関する学びを深め、課題解決への関心を高めることができた。

イ 授業改善についての検証

ハンセン病問題についての学習をするにあたり、読み物資料の入手が必要であったが、近隣の中学校に協力を求めることで、資料を集め、よりよい活用を目指して検討した。また、これまで使用してきた教材を活用するとともに教材研究を深めることで、授業展開における工夫について学び合うとともに、よりよい授業を目指す意欲も高まった。机上での学習だけでなく、地域の研修の場に生徒や教職員が参加していることには意義がある。特に、当事者の声や熱を感じてこそ得られるものがあると感じた。教室での学習時に、研修会に参加した生徒の見聞きしたことや感想を級友に語ることで、差別は許してはいけなく強く感じることに繋がったと思われる。また、体験活動や作文から教材開発を行い、教材化に取り組んだ。人権教育に関するアンケートでは、6月に「感染症患者（HIV、ハンセン病など）の人権問題に対して関心がある」「やや関心がある」と回答した生徒は69%だったが、12月の回答では79%の結果となり、関心度が10%増していた。正しい知識を学ぶ機会を作り、生徒が参加したり体験したりする活動を計画・実践したことが、人権課題に意欲的に取り組み、人権意識を高めることに繋がったと考える。参加希望型の研修では、参加することを積極的に子どもに勧める家庭も見受けられた。

ウ 地域や家庭への啓発について

学校生活の様々な場面で学び感じたことや体験したことを、学校便りやホームページで発信したことにより、保護者だけでなく、近隣の小学校・高等学校、地域の人々にも生徒の取組を知らせることができた。その評価を生徒に返すことで、更に人権学習に取り組む意識が高まり、相手の立場に立って物事を考えたり、思いやりのある言動をとったりすることが増えた。また、学級通信で人権学習や福祉学習の様子や感想を紹介したことで、「家庭内で人権に関することを話題にした」と答える生徒が増え、生徒だけでなく保護者の人権意識の高揚にもつながっていると思われる。

〔普及・啓発〕

普及・啓発にあたっては、以下の方法で学校の取組に関わる情報発信を積極的に行うことで、家庭や地域との連携を図り、一体となって生徒の育成に努めた。

- 学校だより、学級通信、ホームページ等で、学校の取組について発信した。
- 授業や行事の感想等を保護者や地域の方に紹介した。
- 人権参観日において地区別人権・同和教育懇談会事業「人権のつどいinつしま」の講演などを行い、保護者や生徒、地域の方々、教職員が意欲的に参加した。
- 校内の文化祭や福祉会館の「人権ひろば」などにおいて、長島愛生園の県外研修の

報告会を生徒が行った。

- 愛媛県人権教育協議会主催の「人権フォーラム」において人権の詩「夜明け」の朗読を生徒が発表した。
- 地域の福社会館や市人権啓発課、福祉協議会と連携し研修を行った。
- 近隣の認定こども園・小学校・高等学校に向けて、生徒が人権に関わる図書の紹介をしたり、高校生と合同で県外研修に参加したりした。
- 福社会館の子ども会の太鼓練習や人権学習、進路保障の勉強会などに生徒や保護者、地域住民、教員が参加した。

5. 人権教育にかかる年間計画

人権・同和教育年間指導計画		宇和島市立津島中学校 1年			
月	道徳	学級・学年活動(特別活動)	各教科・総合的な学習等	行事との関連	
	<p>人権・同和教育としての視点やねらい</p> <p>【個別の人権課題】《普遍的な視点》(3つの側面)</p> <p>人間の弱さとともにそれを克服する強さや気高さがあることを理解し、よりよい生き方をしようとする実践意欲を育てる。 【女性・子ども・高齢者】《自尊感情》(技能的)</p>	<p>題材</p> <p>1学期の学級組織の編成</p>	<p>人権・同和教育のねらい</p> <p>役割分担によって、学級生活での各人の責任と協力の精神を育てる。</p>	<p>単元・主題</p> <p>持続可能な社会の実現に向けて(社・地) 身近な生物の観察(理) New School, New Friends(英) 情報セキュリティと情報モラル(技)</p>	<p>行事名等</p> <p>入学式・参観日 生徒会入会式 新任委員会・部会 1年生人権集会</p>
4	<p>「いじめ」と向き合う さかなのなみだ</p> <p>同調圧力などに屈することなく、自己と向き合い互いに協力して正義や公正を実現するために努力しようとする態度を育てる。 【子ども】《自尊感情》(技能的)</p>	<p>私たちの将来の希望</p>	<p>自分の将来に希望を持ち、進路に対する関心を高めるとともに、希望の実現に向けて努力する態度を育てる。</p>	<p>世界各地の人々の生活と環境(社・地) 植物の分類(理) 人間っておもしろい(英) 生活や社会と生物育成の技術(技)</p>	<p>生徒総会・遊園訓練 遠足・交通安全教室 新任委員会・部会</p>
5	<p>私らしさって?</p> <p>周囲の目や評価に惑わされず、自分の中にある自主性を大切に、自分で決め、考え、行おうとする実践意欲を育てる。 【子ども】《多様性の尊重、共感的に理解する力》(価値的・態度的)</p>	<p>人権の歴史① (注のおp97～p99) 『部族の人々の労働と生活』～『被差別部落の形成』</p>	<p>中世の身分階級後の社会の様子と、江戸幕府が身分制度を強固にしていこうとしたこと、正しい理解と認識を深める。</p>	<p>古代までの日本(社・歴) 動物の分類(理) ちょっと立ち止まって(国)方程式(数)</p>	<p>市部総体・参観日 新任委員会・部会 期末テスト</p>
6	<p>花火に込めた平和への願い</p> <p>国際的視野に立って、他国を尊重することと世界平和の大切さを理解するとともに、よりよい社会形成や人類の発展に貢献しようとする態度を育てる。 【外国人】《共生社会の実現》(技能的)</p>	<p>学級の諸問題</p>	<p>学級生活を振り返り、良かったこと、反省すべきところを明らかにし、これからのよりよい生活への意欲を高める。</p>	<p>古代までの日本(社・歴) 比較で広がる言葉の世界(国) あなたらしさを見つけて(英)</p>	<p>期末懇談会 終業式・異種体業協会 総体 新任委員会・部会</p>
7	<p>使っても大丈夫?</p> <p>法のまじりの意義を理解し、自他の権利を重んじる自覚と判断力を養う。 【子ども】《問題解決のための技能》(技能的)</p>	<p>仕事と考え</p>	<p>働く人たちが自分の仕事についてどのように考え、どのように取り組んでいるかを明らかにし、職業や働くことに対する関心・意欲を深める。</p>	<p>持続可能な社会の実現に向けて(社・歴) 欠陥した女達への電話連絡(英) 穴段の調(音) 防災学習(総) A Speech about My Brother(英) 地域学習(総)</p>	<p>始業式 体育祭 新任委員会・部会</p>
8	<p>ちがいを乗り越えて</p> <p>日本の習慣や文化のよさを理解するとともに、他の国々の人々や文化に対する理解を深め、尊重しようとする実践意欲を高める。 【外国人】《自他の尊重、コミュニケーション能力》(技能的)</p>	<p>集団宿泊研修を成功させよう</p>	<p>働く人たちが自分の仕事についてどのように考え、どのように取り組んでいるかを明らかにし、職業や働くことに対する関心・意欲を深める。</p>	<p>持続可能な社会の実現に向けて(社・歴) 欠陥した女達への電話連絡(英) 穴段の調(音) 防災学習(総) A Speech about My Brother(英) 地域学習(総)</p>	<p>始業式 体育祭 新任委員会・部会</p>
9	<p>あふれる愛</p> <p>生命の連続性や有限性を理解し、この世に生まれてきたすべての生命を尊重しようとする態度を育てる。 【エイズ患者・HIV感染者、ハンセン病患者】《人間の尊厳、生命尊重》(価値的・態度的)</p>	<p>集団宿泊研修を成功させよう</p>	<p>働く人たちが自分の仕事についてどのように考え、どのように取り組んでいるかを明らかにし、職業や働くことに対する関心・意欲を深める。</p>	<p>世界の諸地域(社・地) 日本の民謡と芸能(音) Foreign Artists in Japan(英) 家庭分野のガイダンス(家) 生涯職能の成熟(保体)</p>	<p>市部新人総体 集団宿泊研修 新任委員会・部会</p>
10	<p>空多の雨乞い(愛ある愛蔵)</p> <p>人間には弱さゆえにそれを克服する強さや気高さがあることを自覚し、過ちを改めてよりよく生きようとする心情を養う。 【その他の重要課題】《自他の尊重》(価値的・態度的)</p>	<p>権利の熟気球</p>	<p>個々の価値観や多様性を尊重し、共に認め合い、支え合う意欲を育てる。</p>	<p>世界の諸地域(社・地) 古臭の世界(国)</p>	<p>文化祭 新人総体 期末テスト 人権・同和教育参観日 新任委員会・部会</p>
11	<p>山の術</p> <p>自分たちを差別していた百鬼たちに、病をふるまい助けたい村の人たちの愛に気づき、差別を解消していこうとする心情を育てる。 【同和問題】《差別を見極める力》(価値的・態度的)</p>	<p>洗染一択</p>	<p>命を懸けて洗染に立ち上がった人々の勇気と英知と団結力のすばらしさを学び取り、部連差別解消への意欲と意欲を持つ。 【同和問題】《公正な判断、差別を見極める力》(知識的、価値的・態度的)</p>	<p>世界の諸地域(社・地) 留学生のプロフィール(英)</p>	<p>新任委員会・部会</p>
12	<p>解体新書</p> <p>被差別身分であった人々の生きざまや技能を知り、杉田玄白・蘭学医の思いや願いに触れることにより、正しい人権意識とは何かを考える。 【同和問題】《公正な判断》(価値的・態度的)</p>	<p>ハンセン病の向こう側</p>	<p>ハンセン病に対する差別や偏見の事実を見つめ、差別の解消に向けて、自分たちで取り組むことができる事例について考え合う。 【ハンセン病患者】《共生社会の実現》(知識的)</p>	<p>世界の諸地域(社・地)</p>	<p>生徒会長選挙 新任委員会・部会 終業式</p>
1	<p>自分だけ「傘」になってしま</p> <p>いろいろなもの見方や考え方があふれる中で、寛容の心をもって謙虚に他者から学ぶ姿勢を育てる。 【子ども】《問題解決のための技能》(価値的・態度的)</p>	<p>健康な心の育成</p>	<p>社会の一員としての自分の考えや、地域の中学生としての自覚を持つようとする意欲を養う。</p>	<p>中世の日本(社・歴) ヒストグラムと相対度数(数)</p>	<p>新任委員会・部会 期末テスト</p>
2	<p>裏庭でできごと</p> <p>誠実さは自分の弱さから逃げない心や誇りから生まれることを理解し、自分の行動に責任を持ち、自分を律し、誠実に生きようとする判断力を育てる。 【子ども】《問題解決のための技能》(技能的)</p>	<p>1年間を振り返って</p>	<p>個人としての日常生活をいろいろな面から振り返り、新学期からのよりよい生活への意欲を高める。</p>	<p>中世の日本(社・歴)</p>	<p>卒業式 学年末懇談会 新任委員会・部会 修了式</p>
3					

人権・同和教育年間指導計画

宇和島市立津島中学校 2年

月	道徳		学級・学年活動(特別活動)		各教科・総合的な学習等		特別活動
	資料	人権・同和教育としての視点やねらい 【個別の人権課題】《普遍的な視点》(3つの側面)	題材	人権・同和教育のねらい	単元・主題	行事名等	
4	自分の弱さと戦え	自らの弱さを自覚し、それを克服しようとする強さを持つて、人間として高く生きようとする態度を育む。 【子ども】《人間関係を調整する力》(価値的・態度的)	1学期の学級組織	役割分担によって、学級生活での各人の責任と協力の精神を養う。	近世の日本(社・歴) アイスプラネット(国) A Trip to Singapore(英) 語り合おう(音) 目的に応じた衣服の選択(家)	入学式・参観日 生徒会入会式 常任委員会・部会	
5	最後のパートナー	生命がかげがえのないものであることを理解し、自他の生命を尊重する心育て、周りの人と支え合って生きること感謝する心情を養う。 【誰がいのある人】《生命尊重、共生社会の実現》(価値的・態度的)	偏みの解消	精神・身体上の悩みや不安などを、素直に出し合い、話し合い活動等を通じて解消の手立てや方法を考える。	近世の日本(被差別部落の形成・身分制)(社・歴) 枕草子(国) My Future Job(英) 衣服計画と必要な衣服の選択(家)	生徒総会 避難訓練 遠足・交通安全教室	
5	いじめと向き合う五月の嵐(カナ・ミカ)	周囲に惑わされず、自分で考え決めたことを大切にし、誠実に実行しようとする判断力を育成する。友達からの信頼に対して、誠実に応え、互いに励まし合い、高め合う本当の友達になろうとする実践意欲を育てる。 【子ども】《人間関係を調整する力、コミュニケーション能力》(技能的)				常任委員会・部会	
6	リスペクトアゲーズ	他者の個性と人権を尊重する大切さに関付き、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする実践意欲を育む。 【外国人】《共生社会の実現》(価値的・態度的)	心身の健康	基本的な生活習慣を考えながら、第二次性徴期の特長を知り、男女の特徴や個人差について理解する。	地域調査の手法(社・地) 生物のからだと細胞(理) 連立方程式(数) 文化の出会いがもたらしたもの(英) 修学旅行訪問地調べ(総) 自画像制作(英)	市郡総体 参観日 常任委員会・部会 期末テスト	
6	戦争を取材する	真理や事実を求めることでよりよい社会が実現されることを理解し、理想の実現を目指して、よりよく生きようとする実践意欲を育てる。 【被災者】《生命尊重、共生社会の実現》(技能的)	人権の歴史 これまでの学習の振り返りと近世から近代にかけての学習	差別が、江戸幕府の政策上、意図的につくられたものであることを再確認し、差別の不合理性について理解する。			
7	海と空一視野の人々	同じ世界に生きる人間として、国や時代を超えて助け合う重要性を理解し、世界平和と人類の発展に貢献しようとする実践力を育てる。 【外国人、被災者】《生命尊重》(技能的)	人権の歴史(ほのおp102～p108・資料) 『解放命』の発布～「水平社」の編成	『解放命』が出された後も差別がなくならなかった理由を考え、水平社が創立されることになった背景から「水平社宣言」に込められた人々の願いを考えよう。	地域調査の手法(社・地) クマゼミ増加の原因を探る(国) 植物のつくりとはたらき(理) 動物のつくりとはたらき(理) 支えられて身に付ける生活習慣(家)	期末懇談会 終業式・県総体 常任委員会・部会	
9	ハイタッチがくれたもの	集団で協力し合う大切さに関付き、よりよい校風をつくろうとする実践意欲を育てる。 【子ども】《人間関係を調整する力》(技能的)					
9	ヨシト	同調圧力に流され差別や偏見を傍観してしまう人間の弱さに関付き、集団の一人として差別や偏見を許さず正義を実現しようとする態度を育てる。 【子ども】《公正な判断》(価値的・態度的、技能的)	望ましい人間関係	学級や生徒会、部活動などにおける人間関係、上級生と下級生との人間関係などについて考え、集団に円滑に溶け込み、生き生きと活動しようとする態度を養う。	日本の地域的特色(社・地) 盆土産・字のない葉書(国) Homestay in the United States(英) 子どもとつとめる家族(家)	始業式 体育祭 常任委員会・部会	
10	「自分」ってなんだろう	人それぞれによさがあることを理解し、その発見と自己受容、自己理解に努め自分らしく生きようとする実践意欲を育てる。 【その他の重要課題】《自尊感情》(価値的・態度的)	修学旅行を成功させよう	実行委員・係会を結成し、自分たちで修学旅行を成功させようとする意欲を高める。	日本の諸地域(社・地) 古典の世界(国)	市郡新人総体 修学旅行 常任委員会・部会	
11	水平社宣言	日本で初めての人権宣言と言われる「水平社宣言」を知り、水平社を創立した人々の思いや願いに触れ、差別解消のための自分の在り方を考える。 【同和問題】《差別を見極める力》(知識的)			日本の諸地域(社・地) 君は「最後の晚餐」を知っているか(国)	文化祭 県新人総体 期末テスト 人権・同和教育参観日	
11	手紙(県同和問題学習資料)	手紙を書いた筆者の心情に深く迫り、同和問題学習をはじめとする様々な人権学習に真剣に取り組む態度を育てるとともに、差別を許さない心を育てる。 【同和問題】《差別を見極める力》(価値的・態度的)			日本の諸地域(社・地)		
11	私の祖父	差別の現実を目撃し、たくましく生きてきた祖父の姿を通して、差別解消への願いと人間の尊厳について考える。 【同和問題】《差別を見極める力、問題解決のための技能》(価値的・態度的、技能的)	人権作文・人権標語	これまでの人権学習を通して、自分を振り返り、差別や偏見をなくしていくために何ができるかを考える。	日本の諸地域(社・地)		
11	短歌と生きる～ハンセン病問題との闘いへ	ハンセン病に関する差別の現実を目撃し、差別と闘ってきた筆者の姿を通して、差別解消への願いと人間の尊厳について考える。 【ハンセン病患者・回復者及びその家族】《差別を見極める力》(価値的・態度的)	高等学校・高等専門学校調べ	それぞれの学校の教育の目的・学科・課程・特色などを理解し、自分にふさわしい進路について考える。	地域の在り方(社・地) 証明(数)		
12			その他の勉学の機会	大学、短期大学、専門学校、各種学校、職業能力開発施設、各官公庁関係の養成機関の教育目的や種類を知り、自分の適性について考える。	地域の在り方(社・地) 走れメロス(国)	生徒会長選挙 常任委員会・部会 終業式	
1			少年の日の集いを成功させよう	自分の成長を見つめ、周囲への感謝の気持ちをもち、少年の日の集いの意義を考える。	開国と近代日本の歩み(社・歴) 場合の数と確立(数)	始業式 常任委員会・部会	
1	イネの青春(愛ある愛媛)	先人の生き方に学び、自分の将来に向かって、理想を実現させていこうとする意欲を育てる。 【女性、外国人】《差別を見極める力》(価値的・態度的)	自分の特性と進路	自己分析によって、自分の特性を基盤と関連付けて考え、望ましい進路計画を立てる意欲を育てる。	開国と近代日本の歩み(社・歴) 天気の変化(理)	常任委員会・部会 期末テスト	
2	命を見つめて	限りある生命を懸命に生きること大切さを理解し、互いに支え合って生きようとする実践意欲を育てる。 【その他の重要課題】《生命尊重》(技能的)					
3			1年間を振り返って	個人としての日常生活をいろいろな面から振り返り、新学年でのよりよい生活への意欲を高める。	開国と近代日本の歩み(社・歴) 箱ひげ図とデータの活用(数) 郷土のさまざまな芸能を味わう(音)	卒業式 修了式 学年末懇談会 常任委員会・部会	

人権・同和教育年間指導計画

宇和島市立津島中学校 3年

月	資料	道徳	学級・学年活動(特別活動)	各教科・総合的な学習等	特別活動	
		人権・同和教育としての視点やねらい 【個別の人権課題】《普遍的な視点》(3つの側面)	人権・同和教育のねらい	単元・主題	行事名等	
4			1学期の学級組織	二度の世界大戦と日本(社・歴) 握手(国) Sports for Everyone(英)	入学式・参観日 生徒会入会式 常任委員会・部会	
5	「いじめ」と向き合う 卒業文集最後の二行	いじめがいかに非情であるかを理解し、差別や偏見を人間として、絶対に許さない態度を育てる。 【子ども、その他の重要課題】《共感的態度、自他の尊重》(価値的・態度的)	社会の一員としての生き方	生活の基盤となる家族集団と、より広い社会集団の一員としての望ましい在り方を考える。	二度の世界大戦と日本 部落解放運動(社・歴) 学びて時に之を習ふ(国)	生徒総会・避難訓練 遠足 交通安全教室 常任委員会・部会
6	エリカ 奇跡のいのち	生きていることの奇跡と尊厳を理解し、かけがえない自他の生命を尊重しようとする実践意欲を育てる。 【その他の重要課題】《人間の尊厳、生命の尊重、差別を見極める力》(価値的・態度的)	人権の歴史 同和対策審議会答申「部落差別解消推進法」	部落差別解消のための法や差別をなくすための運動等を確認し、差別解消に積極的に取り組む姿勢を養う。	現代の日本と私たち(社・歴) 作られた「物語」を超えて(国) Animals on the Red List(英) 平方根(数) 職場体験学習(総)	市部総体 参観日 常任委員会・部会 期末テスト
	命のトランジットピザ	国際的視野に立ち、人類愛について理解を深め、世界平和と人類の幸福に貢献しようとする実践意欲を育てる。 【その他の重要課題】《人間の尊厳、生命の尊重、差別を見極める力》(価値的・態度的)	卒業生の体験に学ぶ	卒業した先輩の進路選択の様子を知り、進路選択のために必要なことを理解する。		
7	No charity, but a Chance!	自分たちが生活する社会に自ら進んで参画し、よりよい共生社会を実現しようとする実践意欲を育てる。 【確かないのある人】《共生社会の実現》(価値的・態度的)	体育祭を成功させよう	体育祭の目的を考え、活動の企画、役割分担、準備などを通じてクラスの一員としての自覚と成功への意欲を高める。	現代社会と私たち(社・公) 俳句の可能性(国) 生物の成長・生殖(理)	期末懇談会 終業式 卒業式 常任委員会・部会
9	命の大切さ	不公正な言動をせず、互いの生命を尊重し、差別や偏見のない社会の現実に努めようとする態度を育てる。 【その他の重要課題】《生命尊重、共感的態度》(技能的)	修学旅行を成功させよう	実行委員・係を結成し、自分たちで修学旅行を成功させようとする意欲を高める。	法に基づく政治と日本国憲法(社・公) 挨拶-原爆の写真に上せて(国) Be Prepared and Work Together(英)	結業式 体育祭 常任委員会・部会
10	自分・相手・周りの人 教室の花 (愛ある愛媛)	公共の場での心構えを理解し、一人ひとりが協力して、誰もが安心して生活できる社会をつくっていくようとする実践意欲を育てる。 【女性、子ども】《共生社会の実現、生命尊重》(価値的・態度的)	文化祭を成功させよう	文化祭の目的を考え、活動の企画、役割分担、準備などを通じてクラスの一人としての自覚と成功への意欲を高める。	日本国憲法と基本的人権(社・公) 故郷(国) 連伝と連化(理) A Legacy for Peace(英) 関数y=ax ² (数)	市部新人総体 職場体験学習 常任委員会・部会
	本とペンで世界を変えよう	国際的視野に立つて、自分にできることで世界平和と人類の幸福に貢献しようとする実践意欲を育てる。 【女性、子ども】《人間の尊厳》(価値的・態度的、技能的)	進路計画の最終検討と進路の選択	自分の進路選択に当たって進路計画の最終検討の必要性を理解し、計画を十分に理解し自分にふさわしい進路先が選択できるようにする。	私たちの生活と政治(社・公) 人工知能と未来(国) 生態系(理) 感染症の予防(保健)	文化祭 新人総体 期末テスト 人権・同和教育参観日 常任委員会・部会
	もしもあなたが親ならば	家庭生活を振り返り、人間に関わることについて家族で関心を持ち、日常生活において生かしていこうとする態度を養う。 【同和問題】《共生社会の実現》(価値的・態度的)			私たちの生活と政治(社・公) Beyond Borders(英)	
11	15歳のハローワーク	就職差別の実態を知り、誰もが公正・公平な立場で就職に臨むことができる社会について考える。 【同和問題】《差別を見極める力、問題解決のための技能》(知識的、価値的・態度的)	本人通知制度を知ろう	宇和島市の本人通知制度についての啓発資料から、差別解消の取組を知り、人権が尊重される社会について考える。	私たちの生活と政治(社・公) 同和答申・部落差別解消推進法) 情報セキュリティと情報モラル(技) ガルニカ(英)	
	小暮日和(ほのお)にできること	結婚差別を身近な問題として捉え、不合理的な差別に対する怒りを持ち、差別や偏見をなくし、よりよい社会を実現する意欲を育てる。 【同和問題】《差別を見極める力、問題解決のための技能》(知識的、価値的・態度的)	人権作文・人権標語	これまでの人権学習を通して、自分を振り返り、差別や偏見をなくしていくために何ができるかを考える。	民主政治と政治参加(社・公) 感染症の予防・性感染症の予防(保健)	
12	あん(DAD)	ハンセン病差別の実態を知り、不合理的な差別に対する怒りを持ち、差別や偏見をなくし、よりよい社会を実現する意欲を育てる。 【ハンセン病患者・回復者及びその家族】《差別を見極める力、共生社会の実現》(知識的、価値的・態度的)	学級の諸問題	学級生活を振り返り、良かったこと、反省すべきことを明らかにし、これからのよりよい生活への意欲を高める。	くらしを支える地方自治(社・公) エルザルバドの少女 ヘース(国) 防災学習(総)	生徒会長選挙 常任委員会・部会 終業式
1			学習上の問題の解決	学習上の不安や悩みをどう解決したらよいかを考えさせ、積極的に相談する態度を育成する。	私たちの生活と経済(社・公) 誰かの代わりに(国) 勸進帳(音)	結業式 常任委員会・部会
2	一冊のノート	祖母の苦悩や不安、家族への思いに気付く主人公の姿をとおして、家族への敬愛を深め、家族の一員としての役割を果たそうとする態度を養う。 【高齢者】《人間の尊厳、共生社会の実現》(価値的・態度的)	将来の生活への心構え	自分が選んだ学校や職場で有意義な生活を送るために、自信と勇気を持って努力していこうとする意欲を高める。	私たちと国際社会(社・公) 紛争地の看護師(国) 標本調査とデータの活用(数) 歌舞伎「勸進帳」文楽「義経千本桜」(音) 家庭生活と地域との関わり(家) 健康を守る社会の取組(保健)	常任委員会・部会 期末テスト
	世界を動かした美	様々な環境の中で人間としてよりよく生きようとする大切さを学び、自分の生き方について考えを深めようとする心情を育む。 【その他の重要課題】《生命尊重、共生社会の実現》(価値的・態度的)				
3	希望	生命の重さと絶対的な有限性を理解し、自他の生命を尊重して懸命に生きようとする実践意欲を高める。 【被災者】《生命尊重》(技能的)	希望にあふれて	将来の希望や夢を明確にするとともに、その実現を目指して努力し、生きがいのある人生を送っていこうとする心構えや態度を育てる。	私たちと国際社会(社・公) 温かいスーブ(国) 持続可能な開発目標(理)	卒業式 修了式 学年末懇談会 常任委員会・部会

6. 推進体制（都道府県・指定都市教育委員会を含む）

